

大規模災害時に連携

7月10日、県建設業協会宮之城支部と「大規模災害時における応急対策に関する協定」を締結しました。

いつ起こるか分からない災害に対して、建設業協会の皆様とこれまで以上の協力体制が強化され、今回の県北部豪雨災害においても、道路、橋りょうの土砂やがれきの除去、災害廃棄物の搬出など、建設業の皆様のボランティアによる迅速な災害の応急対策が実施されました。



おける応急対策に関する協定「調印式



被災地から災害廃棄物を運び出す搬出作業



宮都大橋にかかった流木などの除去作業



災害廃棄物となった畳などの除去作業



運ばれてきた大量の災害廃棄物の収集作業(倉内工業団地)

さつま町茶生産協会 新茶を贈呈

7月4日(火)、さつま町茶生産協会(別府秀吉会長 他26人)の理事5人が役場を訪れ、町へ平成18年産茶10kgを贈呈されました。

別府会長は「町内の生産者が誠心誠意、丹精込めて作ったお茶です。味、香りともに美味しく頂けると幸いです。町の振興のため使ってください。」とあいさつされました。

これは、奥さつま特有の霧のなかで育ったお茶「みやかおり」のPRと地産地消のために、全会員から新茶を提供してもらいブレンドした特製茶であり、今年で7回目となりました。

